

長崎広報紙

陽だまり

No. 10

発行日：2014年11月24日 発行：グリーンコープ生協（長崎）理事会



県北会場では5団体の報告がありました。その中の一つである「佐世保音声訳の会」は、ボランティアで視覚障がい者へ印刷物からの情報を音声で届けるための活動をされています。「音声処理作業に必要なパソコンや録音機器は、1日4〜8時間使うために消耗が激しくいつも不足して厳しい状況だったが、助成を受けて少し抜け出せてとても感謝している」と報告がありました。



他の団体も、助成を受けて活動の幅を広げられている様子の報告があり、参加した組合員からは「自分が出している100円が役立つ嬉しい」と感想がありました。100円基金が地域福祉に活かされている様子を知ることができた報告会でした。（福祉委員長 志水昌子）

助成団体報告会を開催しました

今年度参加していただいた助成団体

- 県北会場 10月20日(月)
- ・佐世保音声訳の会・フリースペースふきのとう・社会福祉法人グリーンコープ・NPO法人ウエスレヤン・コミュニティカレッジ・グリーンコープ生協（生活再生相談室、子育てひろば）



NPO法人ウエスレヤン・コミュニティカレッジ

県央会場 10月23日(木)

- ・認定こども園わんぱくはうす
- ・チャイルドラインさせぼ・NPO法人ウエスレヤン・コミュニティカレッジ・社会福祉法人グリーンコープ・グリーンコープ生協（生活再生相談室、子育てひろば）



チャイルドラインさせぼ



長崎県音声訳の会

南北会場 10月16日(木)

- ・長崎県音声訳の会・フリースペースふきのとう・社会福祉法人グリーンコープ・グリーンコープ生協（生活再生相談室、子育てひろば）



南部地区は、0歳のお子さん連れのママから中学生・社会人のお子さんをお持ちのお母さんまで幅広いメンバーで、キープ&ショップすまいる有本店で月1回程度集まりグリーンコープの活動や子育てについて、いつも楽しくおしゃべりしています。ただいまメンバー募集中です。お買い物に来られた際などに、気軽に見学しに来てください♪

円縁学習会 エンディングを考える

～よりよい最期を迎えるために～

FP 円縁の江洲和子さんを講師にお迎えし、エンディングを考える学習会を行いました。自分の事としてまだ意識していなかった若い世代の方や、離れて暮らしているご両親をお持ちの方の参加もあり、自分や家族の事を見つめ直すきっかけとなったようです。他にも成年後見制度、遺言、相続税などについても学習し、参加者からは多くの質問が出て「とても勉強になった」など多くの感想が寄せられました。

地区長 中嶋美智子



みんなで楽しく勉強できました

fromネグロス組合員ツアー報告



今年度のfromネグロス組合員ツアーはGC（長崎）より佐藤理事長が参加しました。 9月11日～16日

ネグロス島のバナナ生産地は標高200～300mの高地で、車が入りにくいのでぼこ道でした。生産者は、バナナの集荷場までバナナに傷がつかないように、両肩にバナナを60～80kg担いできました。その後は、パッキングセンターで追熟を止めるために12～13度のかけ流しの井戸水で丁寧に洗浄、箱詰めされマニラから冷蔵コンテナで日本へ運ばれます。マスコバド糖は当初、茎やタバコなど異物混入など様々な問題がありましたが、民衆交易を続けることで品質改善がすすみました。サトウキビはシロップ状に煮詰められ、手作業で40分かけてシャベルでかき混ぜ乾燥させます。マスコバド糖やバラゴンバナナは、たくさんの人の手を経て、私たちのもとへ届けられています。民衆交易は、人と人のつながりであり、商品の向こうに確実に農民の自立へとつながっていることを実感できたツアーでした。

理事長 佐藤恵美子



マスコバド糖の作業員の方と一緒に



バナナを担いで険しい道のりを歩いてきます



バナナの集荷場の様子



井戸水で丁寧に洗浄します



今年もご協力よろしくお願いします。

みなさんからのカンパは、特定非営利活動法人 APLA（あぷら）を通して、広くアジアの人たちの自立運動に活かされています。カンパは**37号共同購入申込書**の特別申込欄に右記の申込番号でカンパの口数をご記入ください。

10 200円
申込番号 1399

10 500円
申込番号 1400

